

エンジンにCNI-LPG供給

ENEOSグループ

SDGs達成に貢献

エンジン(浜松市、藤田源右衛門社長)とENEOSグループ(東京都千代田区、江澤和彦社長)は2月21日、カーボンニュートラル

Pガス(CNI-LPG)の売買に関する契約を締結したと連名で発表しました。

ENEOSグループから燃焼に至るまでの

工程で発生するCO₂を国際NGO団体が認証したカーボンクレジットとオフセットすることにより、CO₂排出量を実質ゼロとするも

の。両社は、CNI-LPGの供給・受け入れを通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献していく方針だ。